



## 事例①「ワーキングプア(働く貧困層)」27歳男性。

ブラック企業と呼ばれる都内の居酒屋で勤務を始めた。毎日昼頃に出勤し、そこから休憩なしで仕事が終わるのは明け方4時過ぎ。帰宅できるのは朝方5時過ぎ。毎日仮眠程度の睡眠時間しかとれずに出勤時間を迎える。月給は額面上28万円が固定。何時間残業しようが、残業代は出ない。勤務時間は1日17時間(残業9時間)。時給に換算すると658円しかなく、東京都の最低賃金888円(2015年当時)を大きく下回る計算となる。

1年間休職したが、結局復職することができず退職した。現在、不眠症とうつ病を患い、月に2回の精神科病院への通院を強いられ、労災申請をして補償を受けている。

【意見】この企業では労働基準法が守られていない。企業が個人の尊厳よりも企業の利益を優先する。「ヒト」を「モノ」として扱いセーフティーネットの崩壊がこの事態を招いた。

## 事例②「生活保護」34歳女性。

生活保護を3年ほど受給している。生活保護費は月額約11万円。そこから4万4000円のアパートの家賃を支払い、月6万5000円程度で暮らしている。食費は1日260円ほど。趣味の本や雑誌を購入することや映画を見ることができていない。街中の量販店や古着屋で購入した安価な服を何年も着続けている。100円ショップで買った化粧品などを使用し、工夫しながら化粧をしている。生活保護制度がなければ、彼女は自殺していたかもしれないし、ホームレス状態になっていたかもしれないという。

【意見】貧困状態にあるという事実さえ存在すれば認められるはずの生活保護を申請する権利が実際には機能しているのだろうか？(生存権・憲法25条)

# 日本人は貧困ですか？

## あなたは貧困をどう考えますか？

●「子供の貧困」は表面的にはわからないことがあると思う。私の弟に四人の子供がいるが、進学させたたくても、経済的にさせられない実態がある。貧困な家庭では、子どもたちは教育を受けられない。お金持ちは受けられる。なんか変ですね。

●地球上の財産は、百名の金持ちで牛耳られている。自民党の憲法改正草案では、「家族は助け合う」ことを義務化しようとしているが、それはおかしい。税金を払っているのは、だれでも安心して生活できる社会を作るためだ。

●高校の友人は、学校の先生になることが目標だったが、高卒でラーメン屋に勤めた。でもそれもやめた。

●自分は「下流老人」に突入する年齢になった。経済的、知的貧困になっていくと思うと怖い。世の中はそう簡単に変わらないし・・・今は「政治的貧困」が問題なのだと思う。

●いつから「ブラック企業」と言われるようになったのでしょうか。一人ひとりが尊重される社会になっていません。貧困になって、自虐的になる人、それを自己責任論ですませようとする。もっと貧困問題を考え、変革したい。

10月24日、平診九条の会運営委員会を9名の参加で開催しました。戦争体験を聞く9回目を看護師の木村志穂さんが報告。続いて事務の中田智大さんが、日本人の貧困と憲法」と題しミニ学習の講師を務め、参加者全員が私の貧困、日本人の貧困」について発言しました。

# かべしんぶん

## 平診九条の会

2016年11月号

(通算36号)

発行：平診九条の会

戦争法を廃止しよう！  
野党は共闘！

10月19日統一行動デー  
芦別のスタンディングに  
12名参加。平診職員は7  
名参加。天気は快晴。



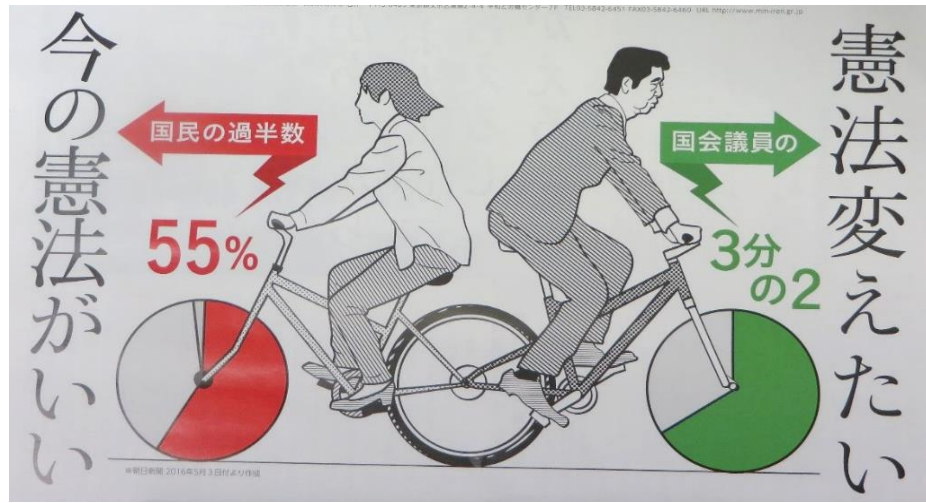
# 戦争体験を聞く 第9回

92歳女性のTさんから看護師の木村志穂さんがお話を聞き、発表しました。その要約です。



Tさんは大正13年芦別の農家で生まれ、11人兄弟の上から2番目として小学校、高等科を卒業し、女学校在学中の15〜16歳の時に校長先生の紹介で、小樽の個人病院で見習い看護師として働き始めた。その間、医師会看護婦養成所に1年間通い看護師の資格を取得した。当時の小樽は、海軍の施設があり、ヨカレン（海軍飛行予科練習生）の生徒は7つボタンの服を着てピツと真つ直ぐ向いて歩き格好が良かった。また遊郭があり、戦争中なのにハイヤーで遊郭に行く軍人もいた。外地に行っている軍人は大変なのにと腹が立ち、「戦争なんて早く終わればいい、日本は負ければいいと思った。」働いていた病院には梅毒の患者が多かった。盲腸や腸捻転の手術も毎日あった。ガーゼ・包帯も配給だったため、カセイソーダで煮たりして大変だった。病院で働いていたため、他の家庭より色々なものが多く支給された。ワンピースやスカートを着て過ごし、モンペは着たことがない。

旦那さんは三井炭鉱で働いていて、20〜28歳まで満州と樺太で軍隊生活を送り除隊、その後三井炭鉱で働いた。除隊されていなかったらシベリアに行っていた。旦那さんから軍隊生活について聞いたことがある。つらかったというもんじゃないうて。3日も4日も夜中行軍し、眠りながら歩き、身体はシラミだらけになって、とにかく大変だったって言うよ。でもまだ食べ物があつた、南方に行った人は輸送船が攻撃されたため食べ物がなくて、みんな餓死したんだって。また、Tさんの弟さんは船乗りで本州を回っていた。空襲があると船を暗くして焼夷弾が落ちる様子を見ていたんだって。次の日落とされた土地に行くと、死んだ人やまだ息のある人や、ひどい状況だったって。「だから戦争して大変なんだ。日本は負けて良かった。勝っていたら、なお大変なことになっていたと思うよ。戦争はしないほうがいいの。」



参議院選挙後のマスコミ各社の世論調査では、どの調査も、「憲法改正に反対」の国民が50%前後で、「改正に賛成」を大きく上回っています。長野県民世論調査（毎日新聞2016年8月）では、参議院選挙で改憲勢力が3分の2を超えたことで『改憲勢力が支持された』とは思わない」とする人が72%に上り、特に「憲法9条改正反対」が60.3%に及んでいます。

## 恥ずべきこと！国連・核兵器禁止条約の締

### 結交渉を開始する決議案に日本が「反対」！

賛成123カ国、反対38カ国、棄権16カ国。唯一の戦争被爆国の政府にあるまじき態度です。



●芦別市の小中学生の「修学援助」を受けている子が二〇数%と聞いています。自分の息子の「勤労意欲」が低いのがとても気にかかります。

●いろいろな「貧困」がありますね。「貧困は個人の責任」とする日本政府の考えは、世界的には一八から一九世紀の思想だということを、なるほどと思いました。

## 南スーダンへの自衛隊派遣は直ちに中止すべきです！

日本テレビ系NNNの世論調査(10月21〜23日)によると、安保法制＝戦争法に基づいて南スーダンPKO(国連平和維持活動)に派兵予定に自衛隊に「駆けつけ警護」と「他国軍との宿営地の共同防衛」の新任務の付与することについて、「加えるべきだと思わない」が56.9%と半数以上になりました。「加えるべきだと思う」は27.0%にとどまりました。憲法9条をもつ日本が「殺し、殺される」ことをしてはいけません。

## 新潟県知事選挙で野党と市民の統一候補が勝利！米山隆一氏（医師・弁護士）